

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立揖屋小学校)

平成31年2月15日

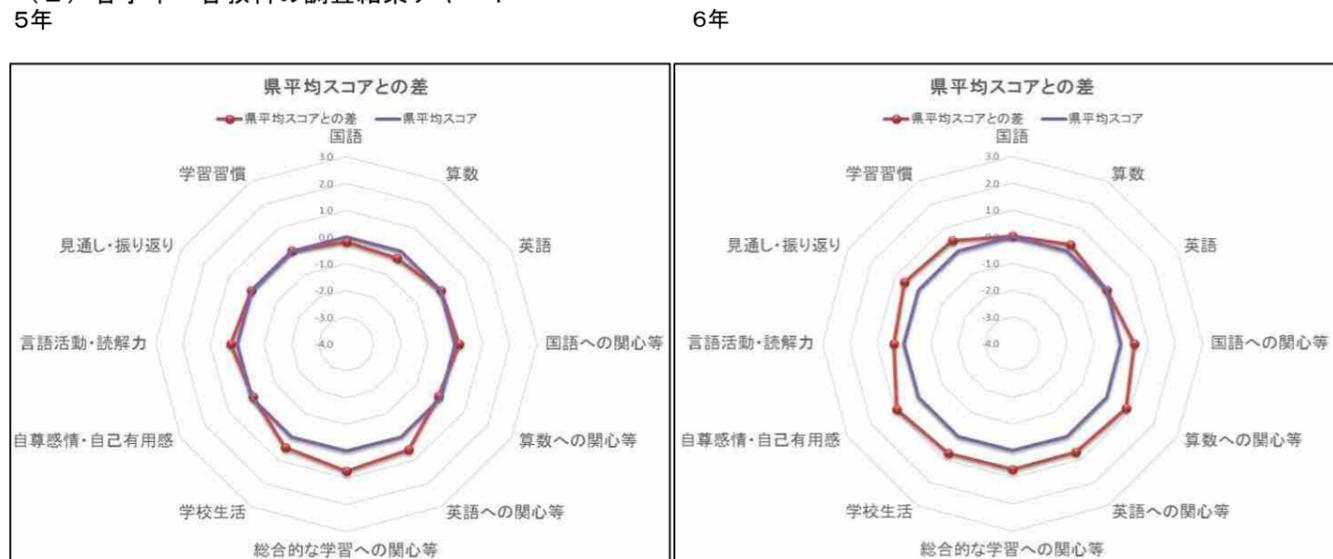
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
5年	国語	○第5学年で学習した漢字の読みは定着している。 ○話す・聞くの領域問題でのメモの工夫や発言の意図について概ね理解している。 ●第4学年配当漢字やローマ字、修飾・被修飾の関係の理解に課題がある。 ●表現の効果に着目して読むことができない児童が少なからずいる。また、複数の叙述を比べながら表現の違いに着目して読む問題において、無回答だった児童が多い。	・言語事項についてより丁寧かつ反復の指導を通じて定着を図る。 ・引き続き、様々な場面で「話す・聞く・書く」活動を意図的にを行い、児童の伸びや変化を捉え、それを認めながら力の伸長を図る。
	算数	○異分母分数の減法計算や比例を利用して体積を求める計算の力がついている。 ○合同な図形の性質と平行四辺形の特徴、直方体の高さや体積の関係を理解する力がついている。 ●小数が混じった四則計算の力や小数の構成・大きさについて理解する力に課題がある。 ●理由を答える問題や分度器を使って角度を求める問題、高さや体積の関係を比例の式に表す問題を解く力に課題がある。	・四則計算や、小数の構成を理解する問題などの反復練習を計画的に行う。 ・具体物を操作しながら、立体や角度などについての認識や理解を高められるようにする。 ・理由を答えたり、説明をしたりする問題を解く力を育てるために、「書く」活動を積極的に取り入れる。
6年	国語	○資料を正確に読み取り、自分の意図が伝わるように書く力がついている。 ○記述で答える問題の正答率が高く、最後まで正確に解く力がついている。 ●漢字やローマ字などの学習内容が定着していない。 ●接続語の理解が不十分である。	・既習の漢字を使って文章が書けるようにしたり、学校や家庭で反復練習をしたりして、漢字を書く力を伸ばす。 ・接続語や指示語をおさえながら文章を読む指導を行う。
	算数	○正多角形の性質を利用して、角度の大きさを求めることができる。 ○計算の順序を正しく理解し、計算する力がついている。 ●拡大・縮小の学習内容が定着していない。	・児童が苦手としている単元や学習内容についての復習を行い、定着できるようにする。 ・図などを効果的に利用しながら、自分でイメージや見通しをもって、問題が解けるように指導する。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○児童が何を学ぶのかを意識できるめあての提示、学んだことの振り返りやまとめができてきている。 ○児童による発表の機会や話し合う活動を意図的に取り入れている。また、その良さを児童も実感している。 ●算数の授業内容がよく分からないと答える児童が国語と比べて高い。	・算数での児童の困り感や分かりづらさを具体的に把握し、それを解消するための手立てを検討し、授業改善を図る。 ・児童が主体的に取り組めるような授業構想、児童の思考の流れに沿っためあての提示、学習内容や自分自身の姿をしっかりと振り返る場の設定を行う。
	家庭学習に関わる事項	○ほとんどの児童が宿題をしており、自主学習で授業の復習などに取り組む児童が増えてきた。 ●家庭学習において、授業の予習を行っている児童は少ない。	・引き続き保護者と連携を図りながら、家庭学習に対する意欲を喚起し、質的な充実を図れるようにする。 ・家庭学習の交流等を適宜行い、家庭学習への児童や保護者の関心を高める。
6年	授業改善に関わる事項	○授業中に話し合う活動や自分の意見を発表する活動を取り入れるように心がけた。 ●学習内容を発展的に活用する活動をあまり取り入れていない。	・様々な教科において、既習の学習内容を関連付けながら活用していく機会を設けるなど、発展的な学習を積極的に行っていく。
	家庭学習に関わる事項	○ほとんどの児童が宿題をきちんと行っている。 ●家庭学習の時間が短い児童が多く、また予習をあまり行っていない。	・授業の復習や予習の仕方、効果的な自主学習の仕方などを、具体的に示したり、紹介し合ったりしながら、家庭学習に対する意識を高め、より充実したものになるようにしていく。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	60	48
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 52人

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	67	64
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 54人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

